

令和8年度

シラバス（普通教科）

～ 1 年 ～



鹿児島県立伊佐農林高等学校

1年 普通教科

1 国 語

2 社 会

3 数 学

4 理 科

5 保健体育

6 芸 術

7 外 国 語

8 家 庭

農林技術科
生活情報科

<h1>言語文化</h1>	単 位	2 単 位
	学科・学年・学級	農林技術科 生活情報科 第1学年

1 学習到達目標等

学習の到達目標	国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。
使用教科書・副教材等	教科書 「新編言語文化」東京書籍 補助教材 「漢字検定5級～2級+短文書写 実践文字力 トリプルチェック」

2 学習計画及び評価方法等

(1) 学習計画等

	学 習 内 容	評 価 規 準	備 考
1 学 期	随筆 古文入門 短歌・俳句 短歌・俳句を作ろう	<ul style="list-style-type: none"> 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解し常用漢字の読み書きに慣れ、文や文章の中で使っている。 内容や構成、展開、筆者の思いなどについて叙述を基に捉えている。 日本の言語文化に特徴的な語句の量を増し、理解を深め、文章の中で使って語感を磨き語彙を豊かにしている。 日本の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。 短歌や俳句に親しみ、表現の仕方や特色を深く読み味わっている。 自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にしている。 	
2 学 期	漢文入門 小説Ⅰ 随筆(徒然草)	<ul style="list-style-type: none"> 日本の言語文化に特徴的な語句の量を増し、理解を深め、文章の中で使って、語感を磨き語彙を豊かにしている。 古典を読むために必要な文語及び訓読のきまり、古典特有の表現などを理解している。 文章の種類を踏まえ、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 文章の意味は文脈の中で形成されることを理解している。 日本の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。 文章に表れたものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈した上で、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、日本の言語文化への自分の考えをもっている。 	
3 学 期	故事成語三編 一年間の学びを振り返ろう	<ul style="list-style-type: none"> 故事成語に親しむために、その歴史的・文化的背景などを理解し、必要な訓読のきまりや特有の表現などについて理解している。 故事成語のもとになった話の内容について叙述を基に的確に捉えている。故事成語の背景や他の言葉との関係を踏まえて内容の解釈を深め、故事成語について自分の考えを持っている。 自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、構成や展開、表現の仕方などを工夫し、学びの振り返りについて、ノートや資料などを参照して言語化しようとしている。 	

(2) 評価の観点、内容及び評価方法

皆さんの学習状況は、「知識・技能」（職業に関する各教科については「知識・技術」）、「思考・判断・表現」, 「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点で評価します。

評価の観点及び内容		評価方法
知識・技能 知識・技術	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができたか。	<ul style="list-style-type: none"> 単元テストや定期テスト ノートの状況 発表の内容やしかた 配布物の管理
思考・判断・表現	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができたか。	<ul style="list-style-type: none"> 課題やレポートの内容や提出状況 言語活動への取組
主体的に学習に取り組む態度	言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を持つことができたか。	

【観点別学習状況の評価】

「A：十分満足できる」・「B：おおむね満足できる」・「C：努力を要する」状況と判断されるもの

公共	単 位	3 単 位
	学科・学年・学級	農林技術科・生活情報科 第1学年

1 学習到達目標等

学 習 の 到 達 目 標	人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせて現代の諸問題を追究したりする活動を通して、グローバル化する国際社会に主体的に生きる公民としての資質・能力を育てる。
使用教科書・副教材等	・教科書：『高校生の公共』（帝国書院） ・副教材：『高校生の公共ノート』（帝国書院）

2 学習計画及び評価方法等

(1) 学習計画等

	学 習 内 容	評 価 規 準	備 考
1 学 期	公共の扉 ・公共的な空間をつくる私たち ・公共的な空間における人間としてのあり方・生き方 ・公共的な空間における基本的原理	・古今東西の戦塵の取り組み、知恵などをふまえ、公共的な空間における基本的原理を理解している。 ・人間の尊厳と平等、個人の尊重、民主主義、法の支配、自由・権利と責任・義務など、公共的な空間における基本的原理について理解している。	・授業態度 ・発問評価 ・ノート提出 ・小テスト ・定期考査
2 学 期	よりよい社会の形成に参画する私たち ・私たちと法 ・私たちと政治	・法や規範の意義及び役割に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 ・個人や社会の紛争を法に基づいて公正に解決するために必要なしくみと国民が果たすべき責任を理解している。 ・民主政治を推進するために、私たちが果たすべき責任を理解している。	・授業態度 ・発問評価 ・ノート提出 ・小テスト ・定期考査
3 学 期	よりよい社会の形成に参加する私たち ・私たちと経済	・公正で自由な経済活動を通じて、市場が効率的な資源配分を実現できるしくみを理解している。 ・経済において、金融市場はどのような役割を果たしているかを理解している。 ・財政や社会保障に関する政府の役割を理解している。	・授業態度 ・発問評価 ・ノート提出 ・小テスト ・定期考査

(2) 評価の観点、内容及び評価方法

皆さんの学習状況は、「知識・技能」（職業に関する各教科については「知識・技術」）、「思考・判断・表現」,「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点で評価します。

評価の観点及び内容		評価方法
知識・技能	現代の諸問題を捉え考察し、選択・判断するための手がかりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から倫理的主体として活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	・单元テストや定期考査 ・ノートの状況 ・発表の内容やしかた ・配布物の管理
思考・判断・表現	現代社会の諸問題の解決に向けて、選択・判断の手がかりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し、公正に判断することができる。	・課題やレポートの内容や提出状況
主体的に学習に取り組む態度	よりよい社会の実現を視野に、国家及び社会の担い手として、現代の諸問題を主体的に解決しようとしている。	

【観点別学習状況の評価】

「A：十分満足できる」・「B：おおむね満足できる」・「C：努力を要する」状況と判断されるもの

<h1>数学 I</h1>	単 位	3 単 位
	学科・学年・学級	農林技術科・生活情報科 第1学年

1 学習到達目標等

学習の到達目標	1. 基礎・基本的な計算問題を繰り返し練習することによって、基礎的な計算の習得と技能の習熟を図る。 2. 図形やグラフを学習することによって、事象を数学的に考察する能力を培う。 3. 多くの練習問題を解くことによって、発展的な考え方ができる
使用教科書・副教材等	・高校数学I（実教出版） ・高校数学I専用スタディノート（実教出版）

2 学習計画及び評価方法等

(1) 学習計画等

	学 習 内 容	評 価 規 準	備 考
1 学 期	ウォームアップ 1章 数と式 1節 整式 2節 実数	四則計算や中学校までに学習した数や式の計算が確実にできるようになる。 文字式のきまり、整式で使われる用語の意味を理解できるようになる。また、式の展開ができるようになる。 乗法公式を用いて展開できるようになる。 中学校で学習した因数分解を復習する。因数分解の鉄則 ①共通因数を取り出す因数分解②公式の利用③置換の利用平方根とその計算ができるようになる。	
2 学 期	1章 数と式 3節 方程式と不等式 2章 2次関数 1節 関数とグラフ 2節 2次関数の値の変化	1次方程式が解けるようになる。 数や式の大小関係を不等号や数直線を利用して表せるようになる。また、1次不等式を解けるようになる。さらに、連立不等式や不等式の応用も解けるようになる。 関数とは何か、関数の考え方を理解する。 1次関数とそのグラフを理解し、グラフがかけられるようになる。 2次関数の式の意味が理解できるようになる。2次関数の基本形 $y=ax^2$ のグラフが理解でき、かけるようになる。 2次関数の一般形 $y=a(x-p)^2+q$ のグラフが理解でき、頂点の座標や軸を利用して2次関数のグラフがかけられるようになる。	
3 学 期	2章 2次関数 2節 2次関数の値の変化	2次関数のグラフをかくことで、最大値・最小値を求めることができるようになる。 2次関数のグラフと2次方程式の解との関係が理解できる。 2次関数のグラフを用いて2次不等式を解くことができる。	

(2) 評価の観点、内容及び評価方法

皆さんの学習状況は、「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点で評価します。

	評価の観点及び内容	評価方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・授業へ出席し、真剣に説明を聞き、板書内容をきちんと記録することができたか。 ・課題や提出物を期限内に提出できたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の出席率 ・授業での発言や板書や学習態度 ・定期考査 ・提出物の内容や提出状況 ・課題問題 ・授業態度 ・プリントや問題集のとりくみ状況
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・定義や例題がきちんと理解できたか。 ・問題を解くとき、適切な公式が活用できたか。 	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中、学習内容の説明を聞き、それに関する発言や質問を積極的にすることができたか。 ・学習内容の定着のため、復習を中心に充実した家庭学習を行ったか。 	
【観点別学習状況の評価】 「A：十分満足できる」・「B：おおむね満足できる」・「C：努力を要する」状況と判断されるもの		

<h1>科学と人間生活</h1>	単 位	2 単 位
	学科・学年・学級	農林技術科・生活情報科 第1学年

学習到達目標等

学習の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自然と人間生活とのかかわり、および科学技術が人間生活に果たしてきた役割について、身近な事物・現象に関する観察・実験などを通して理解させ、科学的な見方や考え方を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。 ・科学技術の発展が、今日の人間生活に対してどのように貢献してきたかについて理解させる。 ・身近な自然の事物・現象および日常生活や社会の中で利用されている科学技術を取り上げ、科学と人間生活とのかかわりについて認識を深めさせる。 ・自然と人間生活とのかかわり、および科学技術が人間生活に果たしてきた役割についての学習を踏まえて、これからの科学と人間生活とのかかわり方について考察させる。
使用教科書・副教材等	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書：高等学校 改訂 新科学と人間生活 (第一学習社) ・副教材：改訂 ネオパルノート 科学と人間生活 (第一学習社)

2 学習計画及び評価方法等

(1) 学習計画等 (◎の節を選択して学習する)

	学習内容	学習のねらい	備考
1 学期	序章 科学技術の発展 1. 情報伝達技術の発展 2. エネルギー資源の活用と交通手段の発展 3. 医療技術の発展 第I章 物質の科学 ◎第1節 材料とその利用 第2節 衣料と食品	<ul style="list-style-type: none"> ・科学技術の発展が今日の生活を豊かで便利にしてきたことに貢献し、社会の変化に影響を与えてきたことを、身近な科学技術の例から理解する。 ・日常生活にみられる身近な物質の素材となる材料の種類、性質、および用途について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 ・ノート提出 ・小テスト ・定期考査 ・実験レポート
2 学期	第II章 生命の科学 第1節 ヒトの生命現象 ◎第2節 微生物とその利用 第III章 熱や光の科学 ◎第1節 熱の性質とその利用 第2節 光の性質とその利用	<ul style="list-style-type: none"> ・DNAの構造、タンパク質の合成、血糖濃度の調節、免疫のしくみ、多様な微生物と生態系でのはたらき、微生物と人間生活とのかかわりについて理解する。 ・熱の性質やエネルギーの変換と保存、有効利用、および光を中心とした電磁波の性質とその利用について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 ・ノート提出 ・小テスト ・定期考査 ・実験レポート
3 学期	第IV章 地球や宇宙の科学 第1節 自然景観と自然災害 ◎第2節 太陽と地球 第V章 これからの科学と人間生活	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な自然景観の成り立ちと自然災害、および太陽や月などの身近にみられる天体と人間生活とのかかわり、太陽系における地球について理解する。 ・自然と人間生活とのかかわりおよび科学技術が人間生活に果たしてきた役割についての学習を踏まえ、これからの科学と人間生活とのかかわり方について考察する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 ・ノート提出 ・小テスト ・定期考査 ・実験レポート

(2) 評価の観点、内容及び評価方法

皆さんの学習状況は、「知識・技能」(職業に関する各教科については「知識・技術」)、「思考・判断・表現」,「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点で評価します。

評価の観点及び内容		評価方法
知識・技能 知識・技術	科学技術の発展の人間生活への貢献、身近な事物・現象を通しての現代の人間生活と科学技術の関連性についての知識を身につけ、これからの科学技術と人間生活のあり方について理解する。 また、身近な事物・現象に関する観察、実験の技能を習得するとともに、それらを科学的に探究する方法を身につける。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 単元テストや定期テスト ・ ノートの状況 ・ 発表の内容やしきた ・ 配布物の管理 ・ 課題やレポートの内容や提出状況
思考・判断・表現	身近な事物・現象の中に問題を見出し、観察、実験、調査などを行って得た結果について、科学的に思考し、判断する。そこから導き出した自らの考えを的確に表現する。	
主体的に学習に取り組む態度	身近な事物・現象に関心や探究心をもち、科学的な視点・考察力を養うとともに、科学技術に対する関心を高める態度を身につける。	

【観点別学習状況の評価】

「A：十分満足できる」・「B：おおむね満足できる」・「C：努力を要する」状況と判断されるもの

<h1>体育</h1>	単 位	3単位
	学科・学年・学級	農林技術科・生活情報科 第1学年

1 学習到達目標等

学 習 の 到 達 目 標	各種の運動の合理的な実践を通して、運動技能を高め運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにするとともに、身体の調子を整え、体力の向上を図り、公正、協力、責任などの態度を育て、生涯を通じて計画的に運動ができる資質や能力を習得する。
使用教科書・副教材等	現代高等保健体育改訂版（大修館）・アクティブスポーツ（大修館）

2 学習計画及び評価方法等

(1) 学習計画等

	学 習 内 容	評 価 規 準	備 考
1 学 期	体づくり運動 体ほぐしの運動 選択Ⅰ(球技) ・バレーボール ・バドミントン ・ソフトボール 体育理論	<ul style="list-style-type: none"> ・手軽な運動を行い、心と体は互いに影響し変化することや心身の状態に気づき、仲間と自主的に関わり合うこと。 ・バレーボールとバドミントンでは、状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防を展開できる。 ・ソフトボールでは、安定したバット操作と走塁での攻撃、ボール操作、連携した守備などによって攻防を展開できる。 <ol style="list-style-type: none"> 1 スポーツがどのように始まったのか、なぜスポーツが世界中に広まったのかを説明できる。 2 運動との比較から文化としてのスポーツの特徴や、多様なかわり方によるスポーツ文化の変容について理解し、説明することができる。 	
2 学 期	陸上競技 体づくり運動 実生活に生かす運動の計画 選択Ⅱ バスケットボール ソフトボール テニス 体育理論	<ul style="list-style-type: none"> ・短距離走・リレーでは、中間走へのつなぎを滑らかにして速く走ることやバトンの受渡して次走者のスピードを十分高めること、長距離走では、自己に適したペースを維持して走ること、ハードル走では、スピードを維持した走りからハードルを低く越すこと。 ・ねらいに応じて、健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための運動の計画を立てて取り組むこと。 ・バスケットボールでは、安定したボール操作と空間を作り出すなどの連携した動きによってゴール前への侵入などから攻防を展開できる。 ・ソフトボールでは、安定したバット操作と走塁での攻撃、ボール操作、連携した守備などによって攻防を展開できる。 ・テニスでは、役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防を展開できる。 <ol style="list-style-type: none"> 3 オリンピズムとオリンピックの価値や、パラリンピックの価値について具体例を挙げ、パラリンピックの意義について説明できる。 4 スポーツが経済活動でどのような役割を果たしているか、スポーツにかかわる業種について例を挙げて説明できる。 	
3 学 期	選択Ⅲ サッカー バドミントン テニス 体育理論	<ul style="list-style-type: none"> ・サッカーでは、安定したボール操作と空間を作り出すなどの連携したうごきによってゴール前への侵入などから攻防を展開できる。 ・バドミントンとテニスでは、役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防を展開できる。 <ol style="list-style-type: none"> 5 スポーツの高潔さを脅かす要因やドーピングがなぜスポーツを破壊する行為になるのかを具体的に説明できる。 6 スポーツにおける環境問題について例を挙げ、スポーツは環境とどのように調和していけばよいのか説明できる。 	

(2) 評価の観点、内容及び評価方法

皆さんの学習状況は、「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点で評価します。

評価の観点及び内容		評価方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none">・運動の多様性や体力の必要性について理解しているか。・運動の技能が身に付いているか。	<ul style="list-style-type: none">・ワークシート・実技テスト・話し合い活動・レポート・授業態度
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none">・課題を発見し、解決に向けて思考・判断しているか。・自己や仲間の考えたことを他者に伝えられているか。	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none">・準備、片付け等仲間と協力して行っているか。・健康・安全を確保しているか。	
【観点別学習状況の評価】 「A：十分満足できる」・「B：おおむね満足できる」・「C：努力を要する」状況と判断されるもの		

<h1>保健</h1>	単 位	I 単位
	学科・学年・学級	農林技術科・生活情報科 第1学年

1 学習到達目標等

学 習 の 到 達 目 標	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深め、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していくための資質や能力を育てる。
使用教科書・副教材等	現代保健体育改訂版（大修館 保体 050-901） 現代高等保健体育ノート改訂版（大修館 保体 050-901）

2 学習計画及び評価方法等

(1) 学習計画等

	学 習 内 容	評 価 規 準	備 考
1 学 期	<p>オリエンテーション 健康の考え方と成り立ち</p> <p>私たちの健康のすがた</p> <p>生活習慣病の予防と回復</p> <p>がんの原因と予防</p> <p>がんの治療と回復</p> <p>運動と健康</p> <p>食事と健康</p> <p>休養・睡眠と健康</p> <p>喫煙と健康</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな健康の考え方や健康を成り立たせている要因について例を挙げて説明できる。 ・わが国の健康水準の変化とその背景や現在の健康問題について例を挙げて説明できる。 ・生活習慣病の種類と要因と一次予防、二次予防について例を挙げて説明できる。 ・がんの種類や原因、がんの一次予防と二次予防について例を挙げて説明できる。 ・がんのおもな治療法や緩和ケアについて説明したり、がん検診の普及や情報サービスの整備などの社会的な対策について説明したりすることができる。 ・健康と運動の関係や目的に応じた健康的な運動のしかたについて例を挙げて説明できる。 ・食事と健康の関係や健康的な食事のとり方について説明できる。 ・健康と休養、睡眠の関係及び適切な休養のとり方、健康による睡眠のとり方について説明できる。 ・喫煙者やその周囲の人に起こる害について説明したり、喫煙対策について、個人と社会に分けて例を挙げて説明したりすることができる。 	
2 学 期	<p>飲酒と健康</p> <p>薬物乱用と健康</p> <p>精神疾患の特徴</p> <p>精神疾患の予防</p> <p>精神疾患からの回復</p> <p>現代の感染症</p> <p>感染症の予防</p> <p>性感染症・エイズとその予防</p> <p>健康に関する意思決定・行動選択</p> <p>健康に関する環境づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・飲酒による健康への短期的影響と長期的影響や飲酒による健康問題に対する個人や社会環境への対策について例を挙げて説明できる。 ・薬物乱用が心身の健康や社会に及ぼす影響についてと薬物乱用のための個人や社会環境への対策例を挙げて説明することができる。 ・精神疾患の例を挙げ、発病の要因とおもな症状について説明し、現代社会における精神保健の課題を挙げるができる。 ・精神疾患を予防方法と精神疾患の早期発見のために必要なことについて説明できる。 ・精神疾患の治療について例を挙げて説明したり、適切な治療や回復のためには、どのような社会環境が必要か説明したりすることができる。 ・感染症の潜伏期間、感染力や新興感染症と最高感染症が流行する要因を説明できる。 ・感染症の予防対策三原則や、感染症への個人と社会の対策について例を挙げて説明できる。 ・性感染症・エイズがほかの感染症と異なる点やその対策について個人と社会に分けて例を挙げることができる。 ・意思決定、行動選択に影響を与える要因や健康に関する適切な意思決定、行動選択の際の工夫について例を挙げて説明できる。 ・社会環境の健康への影響や、ヘルスプロモーションの考え方にもとづく環境づくりの特徴について説明できる。 	

3 学 期	事故の現状と発生要因	・事故の実態と被害の実態についてと事故の発生には人的要因と環境要因が関連していることについて例を挙げて説明できる。
	安全な社会の形成	・安全のために必要な個人の行動についてとすべての人たちの安全を確保するために必要な環境整備について例を挙げて説明できる。
	交通における安全	・交通事故防止における個人の取り組みと交通環境の整備について例を挙げ、交通事故における責任を3つに分けて説明できる。
	応急手当の意義とその基本	・応急手当の意義について説明し、傷病者を発見したときに、確認・観察するポイントを挙げることができる。
	日常的な応急手当	・日常的なけがや熱中症の応急手当の手順や方法について説明し、実際に、日常的なけがや熱中症の応急手当ができる。
	心肺蘇生法	・心肺蘇生法の方法と手順について説明し、実際に、心肺蘇生法をおこなうことができる。

(2) 評価の観点、内容及び評価方法

皆さんの学習状況は、「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点で評価します。

評価の観点及び内容		評価方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・個人及び社会生活における健康・安全について理解しているか。 ・健康や安全についての技能が身に付いているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・確認テスト ・授業ノート ・話し合い活動等 ・授業態度 ・提出物
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・健康についての課題を発見し、解決に向けて思考・判断しているか。 ・自己や仲間の考えを他者に伝える力があるか。 	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に意欲的に取り組み、ノートをとっているか。 ・期限内に提出物を出しているか。 	
<p>【観点別学習状況の評価】</p> <p>「A：十分満足できる」・「B：おおむね満足できる」・「C：努力を要する」状況と判断されるもの</p>		

<h1>音楽Ⅰ</h1>	単 位	2 単 位
	学科・学年・学級	農林技術科・生活情報科 第1学年

1 学習到達目標等

学習の到達目標	音楽の幅広い活動を通して、音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばす。
使用教科書・副教材等	「MOUSAⅠ」 教育芸術社 (随時プリント用意)

2 学習計画及び評価方法等

(1) 学習計画等

	学習内容	評価規準	備考
1 学期	楽典(楽譜の書式) 合唱「翼をください」 「校歌」 カップスによるリズムの理解と実践 ハンドベル ドラム演奏	<ul style="list-style-type: none"> ・曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解している。 ・音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 ・曲想と楽器の音色や奏法との関わりに関心をもち、主体的・協同的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。 	
2 学期	クラシックギターⅠ (第三の男のテーマ) コードの学習 オペラ「カルメン」 創作 世界の諸民族音楽	<ul style="list-style-type: none"> ・曲想と楽器の音色や奏法との関わりについて理解している。 ・創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身につけ、器楽で表している。 ・曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解している。 ・音素材、音を連ねたり重ねたりしたときの響き、構成上の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解している。 ・世界の諸民族の音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解している。 	
3 学期	歌唱「Caro mio ben」 キーボード演奏 箏「さくらさくら」 管弦楽曲鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> ・曲想と音楽の構造や歌詞との関わりに関心をもち、主体的・協同的に学習活動に取り組もうとしている。 ・曲想と楽器の音色や奏法との関わりについて理解している。 ・曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解している。 	

(2) 評価の観点、内容及び評価方法

皆さんの学習状況は、「知識・技能」(職業に関する各教科については「知識・技術」)、「思考・判断・表現」,「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点で評価します。

評価の観点及び内容		評価方法
知識・技能 知識・技術	<ul style="list-style-type: none"> ・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけ、歌唱、器楽、創作で表している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業時の観察 ・学習内容ごとの筆記テスト
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながら良さや美しさを自ら味わって聴いたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実技テスト ・ノートやプリント
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 	
【観点別学習状況の評価】 「A：十分満足できる」・「B：おおむね満足できる」・「C：努力を要する」状況と判断されるもの		

芸術（美術）	単 位	2 単 位
	学科・学年・学級	生活情報・農業技術 科 第 1 学年

1 学習到達目標等

学 習 の 到 達 目 標	1. 美術の幅広い表現活動を通して美術的な感覚を養う。 2. 美術の鑑賞活動を通して美術作品に込められた思いを読み取り批評する能力を養う。
使用教科書・副教材等	「高校生の美術 1」 日本文教出版（随時プリント用意）

2 学習計画及び評価方法等

(1) 学習計画等

	学 習 内 容	評 価 規 準	備 考
1 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・ ステンシルを学ぼう～エコバッグのデザイン～ ・ デッサンする目～観察力を磨こう～ 	<p>ステンシルの仕組みを理解し、自らの意図に沿った作品を制作できている。</p> <p>対象の正確な形や質感を観察し、素描できる技術が習得できている。</p>	
2 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・ 模写 ～描写力を学ぼう～ ・ アクセサリーをつくろう 	<p>模写とコピーの違いについて理解する。対象をよく観察し、描写する技術が習得できている。</p> <p>自然物や人工物、自らの感情などから形を創できている。材料と用具の特性を生かして制作できている。</p>	
3 学 期	かたちづくり ～平面から立体～	対象をよく観察する力を習得する。生き物や植物のかたちを理解し、形づくりの技術を習得できている。	

(2) 評価の観点、内容及び評価方法

皆さんの学習状況は、「知識・技能」（職業に関する各教科については「知識・技術」）、「思考・判断・表現」,「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点で評価します。

評価の観点及び内容		評価方法
知識・技能 知識・技術	作品制作に必要な知識・技術を理解し、自ら考え表現することができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 配布物の管理 ・ 課題やレポートの内容や作品の提出状況
思考・判断・表現	作品制作に必要な知識・技術を駆使して自ら考え作品をよりよくしようと努力している。	
主体的に学習に取り組む態度	対象を観察する力・表現する力を身に付けようとしている。鑑賞活動をととして、美術の文化や歴史を理解し、自らの考えを持ち言語化することができる。	

【観点別学習状況の評価】

「A：十分満足できる」・「B：おおむね満足できる」・「C：努力を要する」状況と判断されるもの

教科 芸術 科目名 書道 I	単 位	2 単 位
	学科・学年・学級	農林技術科・生活情報科 第1学年

1 学習到達目標等

学習の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解する。 ・書の美を味わい、芸術としての「書」を捉えることができるようにする。
使用教科書・副教材等	光村図書 書 I

2 学習計画及び評価方法等

(1) 学習計画等

	学習内容	評価規準	備考
1 学期	書写から書道へ 漢字の書	書道における基礎知識を確認し、書写との違いを理解する。 古典の臨書・鑑賞を通して、技法や表現力を習得する。	
2 学期	仮名の書	用筆の特徴や表記の特徴などを理解し、基本的な筆使いを習得する。	
3 学期	漢字仮名交じりの書	目的や用途に応じた効果的な表現、漢字と仮名の調和した線質による表現方法を習得する。	

(2) 評価の観点、内容及び評価方法

皆さんの学習状況は、「知識・技能」(職業に関する各教科については「知識・技術」)、「思考・判断・表現」,「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点で評価します。

評価の観点及び内容		評価方法
知識・技能 知識・技術	作品(清書)	例 <ul style="list-style-type: none"> ・ 単元テストや定期テスト ・ ノートの状況 ・ 発表の内容やしかた ・ 配布物の管理 ・ 課題やレポートの内容や提出状況
思考・判断・表現	作品(練習)、提出状況、配布物の管理	
主体的に学習に取り組む態度	授業態度	

【観点別学習状況の評価】

「A：十分満足できる」・「B：おおむね満足できる」・「C：努力を要する」状況と判断されるもの

英語コミュニケーションⅠ	単 位	2 単 位
	学科・学年・学級	農林技術科・生活情報科 第 1 学年

1 学習到達目標等

学習の到達目標	1. 中学校の英語学習を踏まえ、高校の英語学習の基礎を培う。 2. 言語活動において、得た情報や相手の考えを的確に理解する。 3. 言語活動において、伝えたい情報や考えを適切に相手に伝える。
使用教科書・副教材等	・教科書：Amity English Communication I (開隆堂) ・副教材：Prep English プレップイングリッシュ [改訂版] (旺文社)

2 学習計画及び評価方法等

(1) 学習計画等

	学習内容	評価規準	備考
1 学期	・中学校の復習 ・GET READY 1～4 ・LESSON 1 The Beautiful Scenery	・中学校で既習の基本的な英単語や文法を身に付けている。 ・数字、文字、品詞について正しく理解して活用している。 ・お気に入りの場所についてやりとりしたり、まとめたものを発表したりする。 ・be 動詞、一般動詞の現在形を理解し、概要や要点を理解している。	夏季課題 プレップイン グリッシュ
2 学期	・LESSON 2 My Best Friend ・LESSON 3 Love for Dance	・日常生活についてやりとりしたり、大切にしている人についてまとめて発表したりする。 ・Be 動詞、一般動詞の過去形を理解し、概要や要点を捉える技能を身に付けている。 ・Be 動詞、一般動詞の過去形を用いて、日常生活について、考えや気持ちを主体的に話して伝えている。 ・コンピュータの使い方や得意なことについてやりとりしたり、写真についてまとめて発表したりする。 ・進行形や助動詞を理解し、概要や要点を捉える技能を身に付けている。 ・進行形や助動詞を用いて、提示された写真について、考えや気持ちを主体的に伝えている。	冬季課題 プレップイン グリッシュ
3 学期	・Lesson 4 The Capsule Toys	・海外でしてみたいことやおすすめของเกมについてやりとりしたり、カプセルトイの中にあったら嬉しいと思うものについて紹介したりする。 ・不定詞を理解し、概要や要点を捉える技能を身に付けている。 ・不定詞を用いてカプセルトイについて考えや気持ちを話して伝える。	春季課題 プレップイン グリッシュ

(2) 評価の観点、内容及び評価方法

皆さんの学習状況は、「知識・技能」（職業に関する各教科については「知識・技術）」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点で評価します。

評価の観点及び内容		評価方法
知識・技能 知識・技術	日常的な話題についての英語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けている。また、その背景にある文化などを理解している。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 単元テストや定期テスト ・ ノートの状況 ・ 発表の内容やしきた ・ 配布物の管理 ・ 課題やレポートの内容や提出状況 ・ 言語活動の取組状況
思考・判断・表現	日常的な話題について、英語を聞いたり、読んだりして、情報や考えなど相手が伝えようとしていることを理解している。また、日常的な話題について、情報や考えなど自分の伝えたいことを英語で話したり、書いたりして表現することができている。	
主体的に学習に取り組む態度	コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしている。また、誤りを恐れずに、英語を使おうとしている。	
【観点別学習状況の評価】		
「A：十分満足できる」・「B：おおむね満足できる」・「C：努力を要する」状況と判断されるもの		

<h1>家庭基礎</h1>	単 位	2 単 位
	学科・学年・学級	農林技術科 第 1 学年

1 学習到達目標等

学習の到達目標	生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解と技術を身につけ、課題を解決する力や、生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養うことにより、家族や地域の生活を創造する資質・能力を育てる。
使用教科書・副教材等	家庭基礎（実教） 家庭基礎学習ノート（実教）

2 学習計画及び評価方法等

(1) 学習計画等

	学習内容	評価規準	備考
1 学 期	オリエンテーション ホームプロジェクト 学校家庭クラブについて 人生について考えてみよう 自分らしい生き方と家族	<ul style="list-style-type: none"> ・一年間の学習内容を確認する。 ・ホームプロジェクト、家庭クラブについて理解する。 ・各ライフステージにおける発達課題について知る。 ・自立した生活をするために何ができるかを考え、理解する。 ・将来への目標を立て、意思決定の力を高める。 	
2 学 期	食生活をつくる 子どもとかかわる 高齢者とかかわる 社会とかかわる 衣生活をつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・食生活を振り返り、食事の果たす役割や食生活の問題点について考える。 ・栄養素の種類と機能を理解する。 ・食品の栄養的特質と調理上の性質について理解する。 ・調理の基礎的な知識を身につけ、安全と衛生に配慮した調理実習が出来るようになる。 ・子どもの育つ力と発達段階を知る。 ・子どもを取りまく社会変化の状況について理解し考える。 ・高齢者を支える家族の役割や介護の必要な高齢者を支える地域及び社会の福祉サービス、高齢者福祉施設などについて考える。 ・被服材料の特徴を理解し、組成表示・取扱い表示・サイズ表示などの意味が分かる。 	
3 学 期	住生活をつくる 消費行動を考える 経済的に自立する	<ul style="list-style-type: none"> ・家族の生活に応じた適切な住居について知り、住まいの安全について考える。 ・家計の管理の方法や家計と国民経済の関わりについて理解する。 ・契約、消費者信用、悪徳商法について理解する。 	

(2) 評価の観点、内容及び評価方法

皆さんの学習状況は、「知識・技術」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点で評価します。

評価の観点及び内容		評価方法
知識・技術	家庭生活を主体的に営むために必要な、家庭科の各分野に関する基礎的な知識を身につけ理解するとともに、それらに係る技術を身につけている。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 単元テストや定期テスト ・ ノートの状況 ・ 発表の内容やしかた ・ 配布物の管理
思考・判断・表現	家庭生活に関する各分野について、生活の中から課題を見つけ、生涯を通してより向上するために工夫し自ら考え選択することができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 課題やレポートの内容や提出状況 ・ 実習における作業の状況
主体的に学習に取り組む態度	家庭生活に関する各分野において、興味・関心を持ち、自分や家庭、地域と関連させながら授業に積極的に参加している。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習活動への取り組みや態度
【観点別学習状況の評価】		
「A：十分満足できる」・「B：おおむね満足できる」・「C：努力を要する」状況と判断されるもの		

<h1>家庭基礎</h1>	単 位	3 単 位
	学科・学年・学級	生活情報科 第 1 学年

1 学習到達目標等

学習の到達目標	1人の一生と家族・福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得する。2家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、家庭生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を身につける。
使用教科書・副教材等	家庭基礎（実教） 家庭基礎学習ノート（実教）

2 学習計画及び評価方法等

(1) 学習計画等

	学習内容	評価規準	備考
1 学 期	オリエンテーション ホームプロジェクト 学校家庭クラブについて 人生について考えてみよう 自分らしい生き方と家族	<ul style="list-style-type: none"> 一年間の学習内容を確認する。 ホームプロジェクト、家庭クラブについて理解する。 各ライフステージにおける発達課題について知る。 自立した生活をするために何ができるかを考え、理解する。 将来への目標を立て、意思決定の力を高める。 	
2 学 期	食生活をつくる 子どもとかかわる 高齢者とかかわる 社会とかかわる 衣生活をつくる	<ul style="list-style-type: none"> 食生活を振り返り、食事の果たす役割や食生活の問題点について考える。 栄養素の種類と機能を理解する。 食品の栄養的特質と調理上の性質について理解する。 調理の基礎的な知識を身につけ、安全と衛生に配慮した調理実習が出来るようになる。 子どもの育つ力と発達段階を知る。 子どもを取りまく社会変化の状況について理解し考える。 高齢者を支える家族の役割や介護の必要な高齢者を支える地域及び社会の福祉サービス、高齢者福祉施設などについて考える。 被服材料の特徴を理解し、組成表示・取扱い表示・サイズ表示などの意味が分かる。 	
3 学 期	住生活をつくる 消費行動を考える 経済的に自立する	<ul style="list-style-type: none"> 家族の生活に応じた適切な住居について知り、住まいの安全について考える。 家計の管理の方法や家計と国民経済の関わりについて理解する。 契約、消費者信用、悪徳商法について理解する。 	

(2) 評価の観点、内容及び評価方法

皆さんの学習状況は、「知識・技術」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点で評価します。

評価の観点及び内容		評価方法
知識・技術	家庭生活を主体的に営むために必要な、家庭科の各分野に関する基礎的な知識を身につけ理解するとともに、それらに係る技術を身につけている。	<ul style="list-style-type: none"> 単元テストや定期テスト ノートの状況 発表の内容やしかた
思考・判断・表現	家庭生活に関する各分野について、生活の中から課題を見つけ、生涯を通してより向上するために工夫し自ら考え選択することができる。	<ul style="list-style-type: none"> 配布物の管理 課題やレポートの内容や提出状況
主体的に学習に取り組む態度	家庭生活に関する各分野において、興味・関心を持ち、自分や家庭、地域と関連させながら授業に積極的に参加している。	<ul style="list-style-type: none"> 実習における作業の状況 学習活動への取り組みや態度
【観点別学習状況の評価】 「A：十分満足できる」・「B：おおむね満足できる」・「C：努力を要する」状況と判断されるもの		